

# 復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

<b>団体名</b>	信金中央金庫
<b>取組名称</b>	復興支援ファンド「しんきんの絆」(被災地の中小事業者に対する資本性資金の供給)
<b>取組概要</b>	<p>                     信金中央金庫と子会社の信金キャピタル(株)は、平成23年12月に、東日本大震災で被災した中小事業者の経営支援等を目的として、被災地の中小事業者に対し劣後ローンや優先株式等、資本性資金の供給を行う「復興支援ファンド「しんきんの絆」」(以下「絆ファンド」という。)を共同出資により仙台市に設立した。                 </p> <p>                     また、資本性資金の供給とともに、投資先の経営支援を行うため、ファンド設立と同時に、独立行政法人中小企業基盤整備機構と業務提携し、ファンド投資先に、同機構の震災復興アドバイザー制度等、各種支援制度を活用して支援したほか、その他信用金庫業界内外の知見・ノウハウも活用して経営支援を行った。                 </p>
<b>取組成果</b>	<p>                     絆ファンドは、平成28年3月末までに、11信用金庫の取引先事業者38先に対し、約20億円の投資を行い、投資を完了した。                 </p> <p>                     なお、上記の投資先への経営支援のほか、資金繰り管理など、投資先のモニタリング等を徹底した結果、平成31年1月末時点で、全てのファンド投資先が事業を継続している。                 </p>
<b>その他</b>	
<b>URL等</b>	<a href="https://www.newtohoku.org/file/FN_case3/30.pdf">https://www.newtohoku.org/file/FN_case3/30.pdf</a>

